(農)久野ファームと和牛青年部が
稲ワラたい肥交換を協議しました

山口農林事務所畜産部
平成22年9月3日

ＪＡ下関和牛青年部は、平成20年から(農)久野ファームと稲ワラたい肥交換の取り組みを行っています。

平成22年８月31日、今年度の取り組みについて調整を行うための協議会を開催しました。

協議の結果、今年はヒノヒカリ２ha、ヒトメボレ２haの稲ワラを９月及び10月に収穫を行うことにしました。

収穫した稲ワラは肉用牛の粗飼料として活用されると共に、稲ワラを収穫した水田へたい肥（１ｔ/10ａ）を投入することにより資源循環型農業が推進されます。

下関農林畜産部では、家畜の自給飼料の確保と耕畜連携の推進に向けて、このような取り組みを拡大させていきたいと考えています。

協議風景